

平成26年度 県事研ビジョン「広島風おこのみプラン」進捗状況報告

会員（個人）による回答のまとめ（アンケート回収数：396枚，H24年度358枚，H25年度406枚）

評価欄【している】【していない】

☆研修—安定した事務機能の構築・資質向上

実行策	3つのワーク	具体的取組	具体的取組(詳細)	平成24年度 評価(%)				平成25年度 評価(%)			平成26年度 評価(%)		
				半分以上	半分以上	わからない	未記入	している	していない	未記入	している	していない	未記入①
(1)各種研修会に参加して自己研鑽に努めます	チームワーク	トータルプロデューサーの能力を身に付けるための研修に参加	キャリアに応じた研修に参加する③	40.5	43.9	12.6	3.0	50.2	49.3	0.5	51.5	45.2③	3.3
			全事研等(※)の事務研究大会に参加する ※中国大会・地方の大会も含む②	16.5	63.7	15.1	4.7	28.3	71.0	0.7	43.9②	52.3	3.8
(2)共同実施組織で「OJT」による研修を行います	ネットワーク	市町事務研への参加 共同事務組織等でのOJTによる研修の推進	実務研修やビジョンに沿った研究を行う④	80.7	10.1	7.0	2.2	91.4	8.3	0.3	87.1④	8.9	4.0
			日常の実践例を共有することにより経験値を高める	63.4	16.5	15.6	4.5	83.7	15.0	1.3	77.5	17.4	5.1
(3)自らの実践や研修成果を積極的に示し、改善に活かします	フットワーク	積極的に研修会に参加する 実践や研修成果の提案	県大会に参加する	87.4	7.9	3.9	0.8	92.9	6.6	0.5	89.4	7.1	3.5
			研修報告等を行い成果の還元を図る⑤	55.3	34.4	8.1	2.2	71.2	27.3	1.5	67.2	27.8⑤	5.0

【分析・考察】

- ①H26年度の未記入が昨年度より多い理由として、昨年度は「研究発表」の時に説明をしながら回答をしたが、今年度は日程設定が変更になり説明時間がなかったためと思われる。
- ②県大会が中国地区大会も兼ねていたため、チームワーク分野の全事研大会等へ参加すると答えた人が増えている。
- ③『キャリアに応じた研修』に関しては、半分以上が「している」と回答しているが、『キャリアに応じた』の部分が意識しにくい、あるいは理解しにくいと感じている会員がいると思われる。「キャリア形成のための行動指標」や「研修履歴チェックシート」等の認知度が上がれば、運動して改善するのではないかと。
- ④未記入を除くと、9割の人が実務研修やビジョンに沿った研究を行い、実践例の共有化も行っている。ネットワークの分野は概ね達成できている。
- ⑤約3割の会員は、研修報告等を行い成果の還元を図ることをしていない。具体的な研修報告の方法について例示していく必要がある。「研修報告兼受講整理表」について再周知してはどうだろうか。
- ⑥H26年度の回答の傾向は、H25年度の回答とあまり変わらない。集約方法が違う影響なのか全体的に達成度が下がっている印象。安定した事務機能の構築・資質向上のために、研修と仕事を結びつける具体的な取組事例の提示を、今まで以上に周知・浸透する必要がある。

★職務内容－関係機関との連携・学校事務の改善と標準化

実行策	3つのワーク	具体的取組	具体的取組(詳細)	平成24年度 評価(%)				平成25年度 評価(%)			平成26年度 評価(%)		
				半分以上	半分以上	わからない	未記入	している	していない	未記入	している	していない	未記入
(1)学校教育目標の達成に向け担当する校務分掌等について改善する意識をもって参画します (2)事務改善に努めます (3)学校評価に学校事務の評価項目を入れ改善を図ります	チームワーク	小中連携	共同事務組織等(※)により小中連携にかかわる① ※事務連絡会や事務研などの共同事務室以外の組織・会も含む	50.3	30.2	16.5	3.0	75.9	23.6	0.5	69.9①	25.8	4.3
	ネットワーク	情報収集と実践	学校経営への参画・事務改善について、事務職員間で連携を図る②	53.4	37.4	7.5	1.7	75.1	24.4	0.5	75.8②	20.5	3.7
		事務改善への意欲と実践③	全国・県内の情報を得て、事務改善を図る	21.5	65.4	12.6	0.5	40.9	58.6	0.5	42.4③	53.6	4.0
	フットワーク	学校経営参画への取組④	経験年数を活かし、学校支援を行う	40.8	46.4	11.5	1.3	59.1	40.6	0.2	61.4	33.8④	4.8
		学校評価改善への取組⑤	学校評価へ学校事務の項目を入れる	4.8	65.9	26.8	2.5	29.1	70.0	0.9	30.1	65.9⑤	4.0

【分析・考察】

- ①共同事務組織による小中連携に関しては、「している」がH25年度の7割強から、6割強へ減少している。県教委も小中連携が極めて重要と示しているように、学校においても小中連携の取組が進んでいるが、事務職員のかかわりが進んでいない。共同事務室等での事務職員間の連携はある程度できていると思われるが、学校全体の小中連携へかかわれていないのではないかと考えられる。
- ②事務職員間での連携に関しては、7割強が「している」と回答。ほぼできていると思われる。
- ③「事務改善への意欲と実践」の数値が過半数を超えていない。なぜ取組が進まないのかを考える必要がある。
- ④学校経営参画への取組は、「している」が過半数を超えているが、「していない」の数値も依然として高い。経験年数に応じた学校経営への取り組み方の周知が必要である。
- ⑤学校評価改善への取組が、相変わらず数値が低い。個人としての取組だけでなく、共同事務室単位の取組等、取組方法を考える必要があるのではないかと。
- ⑥全ての項目について多少の増減はあるが、ほぼH25年度と同じ傾向になっている。現状維持ではあるが取組が進んでいないとも受け取れる。

☆情報収集と発信－各方面とをつなぐ役割を果たし信頼を得る

実行策	3つのワーク	具体的取組	具体的取組(詳細)	平成24年度 評価(%)				平成25年度 評価(%)			平成26年度 評価(%)		
				半分以上	半分以上	わからない	未記入	している	していない	未記入	している	していない	未記入
(1)学校の情報収集・発信・管理に努めます	チームワーク	職員からの要望・意見を把握	職員からの要求・意見を予算要求等に反映させる①	81.0	12.8	5.1	1.1	89.2	10.3	0.5	89.1①	7.3	3.6
		企画委員会等に参加し、情報提供・収集・意見交換	企画委員会に参加し情報提供することで学校経営に関わる②	25.7	58.7	14.8	0.8	60.1	39.7	0.2	32.2	64.1②	3.6
		個人情報保護に努める	個人情報保護について職員に啓発する	41.4	50.0	7.8	0.8	54.7	44.8	0.5	57.1	39.3	3.6
(2)予算要求等に有効な根拠データの集積を行い、校内・地教委へ示し教育条件整備に努めます	ネットワーク	地域との連携③	地域にある資源の情報を収集し、資料を作成・連絡調整を行う	10.1	72.6	14.8	2.5	15.3	84.2	0.5	27.0	69.2③	3.8
		学校の情報の管理	備品等のデータの整理を行い、学校間連携に繋げる	37.2	49.2	12.5	1.1	56.2	43.3	0.5	53.0	43.2	3.8
		情報公開	HP等(※)を利用し積極的に発信する④ <small>※等は紙面での広報も含む(就学援助や転出入事務など、校外への情報発信)</small>	9.5	67.9	20.4	2.2	43.3	56.2	0.5	20.5	75.2④	4.3
(3)地域にある資源や人材のデータを集積し教育活動を支援します	フットワーク	学校内外の情報や条例規程の改正等の収集と理解	条例等の改正について職員へ周知徹底する⑤	55.0	38.3	6.4	0.3	73.9	25.4	0.7	71.7⑤	24.0	4.3
		地教委と連携を取り教育条件整備につながる予算要求をする	予算要求等に有効な根拠データを収集し、適正な予算要求をする	53.1	34.1	12.0	0.8	70.4	28.1	1.5	63.4	31.8	4.8
		予算執行・備品等の適切な財務管理	予算執行状況・内容を定期的に職員に知らせる⑤	65.6	27.4	6.2	0.8	80.0	19.7	0.3	75.8⑤	20.4	3.8

【分析・考察】

①全体的に予算関連の項目は「している」に高い数値を維持していることから、学校経営参画の柱である『予算』において、事務職員の役割を自覚し継続的に取り組んでいることがわかる。

②個々の職員からの要望を把握してはいるが、それを企画委員会等で情報提供または意見交換ができていない。企画委員会に特定せず、それ以外の場で職員へ情報提供している場合もある(H25年度のアンケート結果より。H25年度は『企画委員会(等)』と説明を加えた)。

③数年の回答結果を見ても、地域との連携については、窓口を主に教頭がしているということもあって、事務職員として『地域との連携』は「していない」と思っている会員が多い。具体策を提示していく必要がある。

④情報公開は、『HP』という文字が全面に出すぎていて、HP技量不足の会員が「していない」に○をしている可能性もある。他の方法で情報公開しているという会員は多いと思うので、この「※印」の項目をもっと大きく掲載すると数値が上がると思う。また、情報公開方法・技術向上等を個々で考えるのは難しいので、共同事務室等で研修する、というやり方もあるのではないだろうか。

⑤条例改正・予算執行状況等の職員への情報発信・提供はほぼ達成していると思われる。共同事務室等での情報交換や事務だよりの発行等が定着しているためと思われる。